



平成 29 年 10 月 20 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 メ タ ッ プ ス
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 佐 藤 航 陽
(コード番号：6172 東証マザーズ)
問 合 せ 先 取 締 役 副 社 長 山 崎 祐 一 郎
(TEL. 03-5325-6280)

2017 年 8 月 期 四 半 期 連 結 財 務 諸 表 に 関 する 誤 謬 の 判 明 及 び
2017 年 8 月 期 通 期 業 績 予 想 値 と 実 績 値 と の 差 異 に 関 する お 知 ら せ

この度、当社が公表した 2017 年 8 月 期 四 半 期 連 結 財 務 諸 表 に つ い て 誤 謬 が あ る こ と が 判 明 い た し ま し た 。 ま た 、 本 日 、 誤 謬 の 訂 正 を 反 映 さ せ た 「 平 成 29 年 8 月 期 決 算 短 信 」 を 公 表 い た し ま し た 。 現 在 、 該 当 す る 四 半 期 報 告 書 及 び 四 半 期 決 算 短 信 の 訂 正 作 業 を す す め て お り 、 詳 細 に つ き ま し て 下 記 の 通 り お 知 ら せ い た し ま す 。

株主、投資家の皆さまをはじめとする関係者の皆様には、多大なご迷惑とご心配をおかけしますことを深くお詫び申し上げます。

また、当社は、2016 年 10 月 17 日に公表いたしました 2017 年 8 月 期 通 期 業 績 予 想 値 と 、 本 日 公 表 し た 実 績 値 に 差 異 が 生 じ ま し た の で 、 併 せ て お 知 ら せ い た し ま す 。

記

1. 2017 年 8 月 期 四 半 期 連 結 財 務 諸 表 の 訂 正 に つ い て

① Smartcon Co. Ltd. の 会 計 処 理 に つ い て

2017 年 8 月 期 通 期 の 決 算 作 業 の 過 程 に お い て 、 当 社 連 結 子 会 社 で あ り 、 2017 年 8 月 期 第 1 四 半 期 に 株 式 取 得 し た Smartcon Co. Ltd. (以下「Smartcon 社」) の 財 務 数 値 を IFRS に お い て 再 度 精 査 し た 結 果 、 こ れ ま で 会 計 上 認 識 し て い た 数 値 と 新 た に 算 出 さ れ た 数 値 に 差 異 が 生 じ て い た こ と か ら 、 Smartcon 社 の 過 去 5 年 分 の 財 務 数 値 に つ い て 調 査 ・ 分 析 を 行 い ま し た 。

調 査 ・ 分 析 の 結 果 、 Smartcon 社 が 展 開 す る 電 子 クーポン事業の売上会計方法について、一部 IFRS の 基 準 に そ ぐ わ な い 処 理 が あ っ た こ と が 判 明 い た し ま し た 。 電 子 クーポン事業においては、販売時、使用時、使用期限及び消滅時効（5年）というタイミングがあり、その中で、一部取引の売上高について、本来収益認識すべきクーポン使用時ではなく販売時に行われていたため、当該取引について、収益認識をクーポン使用時に変更し、売上から前受金に振り替えました。また、原価が発生しないクーポン失効益の認識時期をクーポンの使用期限から債権の消滅時効が経過するまで繰り延べることとし、この結果、同社の期首時点の利益剰余金が約 315 百万円減少、四半期連結財務諸表におけるのれんが約 161 百万円増加する見通しです。なお、各四半期の売上及び営業利益の訂正金額は現在監査法人による四半期レビュー中です。

② Metaps Plus Inc. 株式売却時の会計処理について

また、2016 年 12 月 26 日 公 表 の 「 連 結 子 会 社 株 式 の 一 部 譲 渡 に 伴 う 譲 渡 益 (特 別 利 益) 計 上 に 関 す る お 知 ら せ 」 の 通 り 、 当 社 は 子 会 社 で あ る Metaps Plus Inc. の 一 部 株 式 を 海 外 投 資 フ ェ ン ド に 売 却 い た し ま し た 。 そ の 際 の 契 約 に 付 与 さ れ た 買 戻 条 項 を 、 IFRS に お い て 負 債 計 上 す べ き と ころ 、 当 該 処 理 が 見 落 と さ れ て い た

ことが判明いたしました。この結果、資本剰余金から負債へ約 557 百万円の振替となる見通しです。

上記二点を踏まえ、監査法人とも協議の上、過去に提出した以下の四半期報告書及び四半期決算短信を訂正することといたしました。なお、訂正四半期報告書の提出及び四半期決算短信の訂正は 2017 年 10 月中を予定しております。

四半期報告書

第 10 期 第 1 四半期 (自 2016 年 9 月 1 日 至 2016 年 11 月 30 日)

第 10 期 第 2 四半期 (自 2016 年 12 月 1 日 至 2017 年 2 月 28 日)

第 10 期 第 3 四半期 (自 2017 年 3 月 1 日 至 2017 年 5 月 31 日)

四半期決算短信

平成 29 年 8 月期 第 1 四半期決算短信 [IFRS] (連結)

平成 29 年 8 月期 第 2 四半期決算短信 [IFRS] (連結)

平成 29 年 8 月期 第 3 四半期決算短信 [IFRS] (連結)

2. 業績予想との差異について

当社は、2016 年 10 月 17 日に公表いたしました 2017 年 8 月期通期業績予想値と、本日公表した実績値に以下の通り差異が生じました。

2017 年 8 月期通期 連結業績予想との差異 (2016 年 9 月 1 日～2017 年 8 月 31 日)

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	18,000	700
実 績 値 (B)	13,572	251
増 減 額 (B - A)	△4,428	△449
増 減 率 (%)	△24.6	△64.1
(参 考) 前 期 連 結 実 績 (2 0 1 6 年 8 月 期)	8,817	△333

売上高については、Smartcon 社の IFRS における会計処理方針について、監査法人と協議の結果、2017 年 8 月期第 1 四半期実績値より、代理人取引と見做される一部取引の売上を純額計上とし、業績予想においては当該取引について総額計上としていたこと、また、Smartcon 社においてクーポン失効分の売上 (約 180 百万円) の計上を翌期以降に繰り延べたことにより、売上が業績予想を約 44 億円下回る着地となりました。

一方、営業利益については、既存事業が拡大するとともに、関係会社株式の売却益等が寄与したものの、仮想通貨関連等の新規事業への投資 (約 290 百万円) により販管費が増加したこと、Smartcon 社における失効益の計上を翌期以降に繰り延べたこと (約 180 百万円) により予想を大きく下回りました。

以 上